

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

和光教室・そよ風学級並びに
議会議員及び公的機関関係者合同人権講演会

12月1日に清和地区及び蘇陽地
区で人権講演会を開催しました。
講師に笑福亭松枝さんをお迎え



講師の笑福亭松枝さん

し、「皆違う顔、でも同じハート」と題し、講演していただきました。講演では、いじめや差別をなくすことの重要性やルールを理解し、安心することが笑いつながる等、分かりやすくお話されました。また講話だけにとどまらず、落語や小話を交えての講演に、会場は和やかな雰囲気の中、参加者は自分の思いと重ねながら熱心に耳を傾けていました。



12月4日矢部保健福祉センター「千寿苑」において山都町人権を考える町民の集いを開催しました。集会では、町内小・中学生による人権作文の発表と太鼓集団「怒」に所属される谷本直也さんによる「怒ー大阪浪速太鼓集団」反差別の思い」と題した講演がありました。子どもたちの人権作文は、学校における人権学習や生活の中での気付き、人権に関する想いなどが発表されました。講演では、和太鼓の持つ秘められた歴史や自身が所属する太鼓集団の成り立ちなどをお話しされました。講演の中で、「和太鼓を入り口とし、人権啓発を進めていく。教育が大切であり、正しい知識を教えていく必要がある。」と述べられました。集会参加者は、子どもたちの作文発表と講演を自分の想いと重ねながら聴き入り、人権の重要性に

山都町人権を考える町民の集い

ついて、あらためて考える1日になりました。



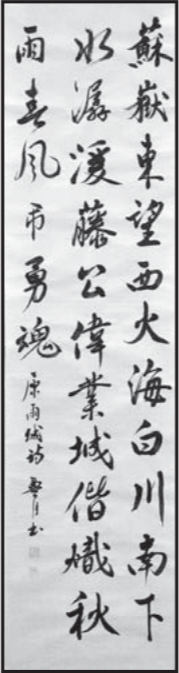
小・中学生による人権作文発表



講師の谷本直也さん

書道

和光教室書道部



八田 豊久さん（入佐）作

季節のうた

馬見原醉山会

スプーンに掬って食らふ熟柿かな	兼瀬 哲治
バス沿線朽ちし家にも柿熟るる	工藤美智子
物干しにすだれのごとくつるし柿	畑野フミヨ
やまなみの会「山脈」	
猪除を電柵新たに取り代へる	本田 七郎
栗飯を帰省の子等へ馳走する	今村 芳子
父の夢目覚め寂しき夜長かな	岩村ヨシ子
買い物に伴う母と車内にて冗談交じりの会話弾めり	本田健二郎
夏祭りの名残りの金魚スイスイと吾は夏バテ動作ノロノロ	古閑比奈子
台風の間月に月見え隠れいつも見るとと煌々と照る	山下 弘子
通潤句会	
山襲の落ち合うところ薄紅葉	菊池 幸子
西郷の逃れし道や谿紅葉	菅 清次郎
山崩えに打ちこむ太鼓秋まつり	中村 暢子
清和短歌会	
激動の荒波超えて今日を行く福祉の慈雨にひたりつつかな	大塚 叢司
起き伏しを人に頼みて暮す日のこの侘しさを誰に語らむ	山本 フサ
肥後狂句讀みつつ獨り笑いせば気は確かかと友の来たりて	原田由紀子

山都町の人口

[平成 29 年 11 月 30 日現在]

男	7,433人 (-31)
女	8,020人 (-15)
計	15,453人 (-46)
世帯	6,571戸 (-9)

※ () は前月比
 ※最高齢は 107 歳 [女性 1 人]
 ※平成 29 年 11 月の出生者数 10 人
 ※平成 29 年 11 月の死亡者数 25 人

山の都地域しごとセンター通信 vol.3



大丈夫。きっとイメージ通りにいくよ。

山都町への移住定住を促進するための啓発ポスター（2種類）が完成しました！

山都町での豊かな暮らしが想像できるあたたかな仕上がりとなっています。

第2弾は H24 年に関東から移住された鳥越さん一家。

金内（矢部地区）を拠点に有機農業に取り組みながら、「YASKI BAND」として音楽活動もされています。

問い合わせ先 ☎ 0967-72-9111

編集後記

12月になり雪も降りはじめ、いよいよ冬がやって来ました。「まちの話題」でも掲載している矢部高校のイルミネーションは、とても綺麗で12月にはなったなとしみじみ感じました。山都町の新スポット誕生です♪

点灯式後に生徒さん、校長先生にご協力いただき広報用の写真撮影を行ったのですが、部活動中とはいえ、短パンに素足だった生徒さんを見て、若さと元気と、そして自分が無くてしまったものを感じました(˘˘;)

年末に向け忙しくなる方が多いと思いますが、忙しく急いでいる時こそ、思わぬケガや事故に遭わないようにお気をつけください。(坂本)